

身体を労り、まず1勝を



群馬県で開催される第34回全日本古希軟式野球大会に出場する野村壽男選手(写真左)と坂本光良選手(写真右)(ともに大垣シニア所属)が、9月30日(水)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長が「勝利を目指してプレーすることはもちろん、野球を通じての新たな出会いや思い出作りを楽しんでいただきたいと思います」と話すと、両選手は「各都道府県のトップチームとの対戦となり、これまでの対戦相手よりもさらにレベルが高くなりますので、1勝するだけでも簡単なことではありません。身体を労りながら、自分にできるプレーをすることで、まず1勝することを目指して大会に臨みたいと思います」と抱負を語りました。

シニアになっても“魅せるプレー”を



埼玉県で開催される第38回全国健康福祉祭埼玉大会(ねりんピック彩の国さいたま2026)に出場する伊藤要一選手(ソフトテニス 写真左)と森永健裕選手(サッカー 写真中央左)、水谷正美選手(弓道 写真右)の活躍を祈念し、10月5日(月)に激励会を開催しました。

川地憲元町長は「ケガなどのないよう身体に気を付け、いいプレーをしてきてください」とエールを送り、選手たちは「新しい出会いがあることがとても楽しみです」「シニアの自分たちにもいいプレーができることを見せたいです」「次の世代の人たちが競技に興味を持ってくれるよう、できることを精一杯やり切りたいです」とそれぞれの心づかいを語りました。

それぞれの思いを胸に国スポ・障スポへ



青森県で開催される第80回国民スポーツ大会および第25回全国障害者スポーツ大会へ出場する選手の活躍を祈念し、10月2日(金)に激励会を開催しました。吉田雄城選手(水泳 写真左)と富田至温選手(軟式野球 写真中央左)、坂直美選手(バレーボール 写真中央右)、三輪楓華選手(フェンシング 写真右)が出席し、川地憲元町長や野村永一町議会議長らから激励の言葉が贈られました。

選手たちは「悔いの残らないよう全力で臨みたい」「代表として大会に出場できることに感謝し、1戦1戦を大事に挑みます」「苦しいときも声をかけ合って、1本1本を大切にしたいです」「1本1本を大切にしてお優勝を目指します」とそれぞれに意気込みを語りました。

結果で伝える“感謝の気持ち”



東京都で開催される日清食品カップ第42回全国小学生陸上競技交流大会に出場する山元優楓選手(GRANTS所属 養老小学校6年)が、10月2日(金)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長が「全国大会において同世代の選手たちと競い合うことは、多くの刺激を受け、貴重な経験となることと思います。結果にこだわるのはもちろん大切なことですが、全国大会の舞台を楽しみ、最後まで全力で挑戦してきてください」とエールを送ると、山元選手は「全国で3位以内に入賞することを目指して、大会に臨みたい。いつも協力してくれる周りの人たちへ、結果を出すことで感謝の気持ちを伝えたい」と大会にかける思いを話しました。